

## 令和4年度 三田市協働事業提案制度 「ええやん！やってみよっ！」

団体名： wheelogさんだ

提案事業名： wheelogさんだ車いす街歩き

車いすユーザーと関西学院大学ボランティアサークルエコハビと福祉関係者がスマートフォンアプリ「Wheelog! (ウィーログ)」を使って市内のバリアフリーマップの作成を進めています。車いすの生活になると気軽に外出はできません。事前に目的地や目的地までのバリアフリー情報を調べておく必要があります。自分が行った情報が誰かの安心して外出できる情報につながるように、誰もが簡単に持ち運びができるスマートフォンにて情報が見れるということは、車いすユーザーだけでなく、高齢者やベビーカーを押す人など様々な人への安心や便利な情報となっていきます。Wheelog! という世界中のバリアフリー情報を登録できるこのアプリは『お互いが助け合える仕組み』になっています。情報があることで誰もが外出しやすくなり、外出する機会が増えると、人の理解が深まり環境や街が変化していきます。昨年4月に一人の車いすユーザーからの発案によって賛同する人が集まり結成しましたが、予算が無い中で思い切った活動はできず、市民に広く周知したり新たなメンバーを増やすことがなかなかできませんでした。そんな中で、パネルを見たよと声をかけてくださる方や、広報誌や新聞社が取材に来てくださったことは、この活動を継続していく上での大きな糧となりました。助成金をいただくことができれば、大きなイベントをしたり、チラシを作成して市内の企業や市民に対して広報ができます。この活動が将来的には、まちづくり、地域活性、観光、教育などの面でバリアフリー化の推進につながると考えています。街歩きイベントやパネル展示を通じてより多くの人に、この活動を知っていただき参加していただきたいです。私たちは『誰もが暮らしやすい三田』を目指してこれからも地道に活動を続けていきます。